



第 31 期 2018-2019

2018-7 月号

国際会長主題 私たちは変えられる

アジア会長主題 アクション

東日本区理事主題 為せば、成る

富士山部長主題 生き活き！ワクワク！仲間と共に！

富士会長主題 笑顔と感謝で奉仕

第 31 期クラブ役員

会長 増田 隆 書記 井上 暉英
 A 副 吉澤 廣美 会計 菊池 初彦
 B 副 高野 亨 監事 漆畑 義彦
 監事 樫村 好夫

*富士・富士宮クラブ合同 7 月例会

日時 2018 年 7 月 11 日 (水) 18:30~

場所 ホテルグランド富士

- 受付 高野 亨君 市川文彦君
 司会 菊池初彦君
 1. 開会点鐘 増田 隆会長
 1. 開会の辞 樫村 好夫君
 1. ワイズソング、ワイズの信条 司会
 1. 区理事・部長・会長主題の唱和 司会
 1. 会長挨拶 富士クラブ 増田 隆会長
 1. 富士宮クラブ 山本昭宏会長
 1. ゲスト、ビジター紹介 増田 隆会長
 1. 食前の感謝 岩辺 富雄君
 1. 卓話 富士宮高校会議所 時田定則事務局長
 遠藤裕太会頭、松平桃香副会頭
 テーマ「高校会議所の活動を全国に」
 1. 誕生日
 1. 各委員会報告
 1. 監事、書記、会計、事務局報告
 1. 出席率・スマイル報告
 1. 閉会の辞 富士宮クラブ 吉川たける君
 1. 閉会点鐘 富士宮クラブ 山本昭宏会長
 ※7 月誕生日 7/1 鈴木靖巳君 7/12 市川文彦君
 7/9 村田彰宏 7/20 中村武志君

巻頭言

新たな時代 増田 隆

昨年度、富士クラブはおかげさまで創立 30 周年を迎える事ができました。私はこれでやっと富士山部そして東日本区の先輩クラブの仲間入りができたと感じました。歴史あるワイズメンズクラブに 101 番目のチャータークラブとして 1988 年認証された富士ワイズメンズクラブは設立当時は 40 名を超える会員が、YMCA が存在しない富士市に青少年健全育成や地域の奉仕活動に汗を流しました。私が数ある奉仕クラブの中からワイズメンズクラブに入会したのは特別の動機があってではありません。ただ単に先輩から誘われた、ただそれだけです。私は入会のきっかけはそんなものだと思います。しかし今思えばその先輩は非常に熱心に、一生懸命にそして熱くワイズを語り入会を勧めました。熱心さや誠実な熱意は目に見えない力となってその人を引きつけ心を動かし感動を呼びこむことも可能にするのだと感じました。富士クラブの 31 期は初心に帰り、会員の減少を嘆くのではなく、物事はすべて見方次第で少ない現状を心の持ちようによって明るく前向きに立ち向かい、→

在籍数	19 名	出席数	11 名	スマイル	12,000 円	C S 基金	2,072 円
功労者	1 名	出席率	61.1%	同上累計	120,000 円	同上累計	7,953 円
連絡主事	1 名	ゲスト		ビジター		計 11 名	

「笑顔と感謝で奉仕」して楽しいワイズ活動を展開していきたいと思います。毎年同じことの繰り返しでは進歩はないと思います。どんな小さなことでも新しいことに挑戦することが大切であり、それを失敗することを恐れるよりも挑戦しないことを恐れたい気持ちでワイズ活動を前向きに取り組み富士クラブの31期は小さな活動の積み重ねを大切に行きたいと思います。私達富士クラブのメンバーには個人的な意思を超えた、深い縁の力が働いているのではないのでしょうか。だからこそ縁のあったことを素直に、謙虚に喜びあいたいと思います。

さあ、いよいよ新たなワイズの時代の幕開けです。新たな時代は、あす突然やってきません。きょう今からすでに始まっています。新たな時代をどう作り上げていくかはメンバーの想い一つです。念願である新入会員の入会や地域奉仕活動は、ただ座しているだけではよう。新たな結果は決して生まれません。「何としても」というメンバーの強い熱意と意志と行動が結果を生み出すことを信じてワイズ活動にまい進していきましょう。

富士クラブ6月例会



檜村好夫ワイズから富士クラブに檜村弘子基金の目録贈呈がありました。

故 檜村弘子ワイズ追悼例会

仲澤昭夫君の司会で「故檜村弘子ワイズへの思い」をメンバーに語っていただきました。

漆畑義彦会長 富士五湖クラブ 15周年記念例会に檜村ご夫妻と計4名で参加しました

時、弘子ワイズの食事の様子が以前よりも良さそうに見受けられました矢先のことだったので・・・どこに行くのにもご夫婦一緒に、東日本区のメンバーからは羨まれていました。弘子ワイズには食事や酒の肴などいつもお世話になっていましたので、もう手料理が食べられないと思うと残念で寂しいです。

この度、富士クラブに多額の寄付をしていただきありがとうございます。5年も前に用意されていたとのこと、大切にに使わせていただきます。

吉澤廣美 5月例会の帰り、車に割とスムーズに乗られたので「奥さん、調子が良さそうですね」と言った矢先のことだったのでビックリしました。弘子ワイズの興味を引く、独特の文章を楽しませてもらっていましたので、私がブリテン委員長の時はよく原稿をお願いしていました。数年前、「ワイズメンを“〇〇君”で呼ぶのがいいわね。昔を思い出すわ!」とニヤッとしていました。

次田升勇 昭和52年3月に檜村胃腸科外科さんで手術を受けました。それまで夜間に胃痛が酷く注射を打ちに行っていました。お世話になりました。奥様は昭和天皇の香淳皇后にそっくりなお顔立ちでした。

鈴木靖巳 チャーター時、役員会や札幌の大会などでごちそうしていただき大変お世話になりました。色々な所に気配りをしていただきました。30周年記念例会のアピールに精力的に出掛けてもらい、沢山の人がきてくれました。ありがとうございました。走馬灯のようにいろんなことが思い出されます。

増田隆 高校女子サッカー大会を9回行い、「加志村」に民泊をお願いし、毎年5~6チームが泊まっていました。ご苦労をおかけしました。有り難かったです。また、好夫ワイズの2階で大型スクリーンでワールドカップを大勢がサッカー川口能活後援会長の時、「加志村」で応援したのが思い出されます。先日、30周年記念例会の記念誌が出来上がりましたが各ページの写真欄にいつも弘子ワイズが写っています。それだけ活動されていたと言

うことがわかります。

小澤嘉道 いつも平等に声をかけてくれました。「小澤さん、この服は奥さんのセンス?」、「小澤さん、やればできるじゃない!」などと褒めて育てる、懐の深さがありました。4月例会の時には登り龍の由比手ぬぐいをいただきました。

高野亨 宇都宮東日本区大会、榎村好夫ワイズ東日本区理事就任式の時、カメラを渡され、写真を撮ると言われたことが思い出されます。いつも席が近くでもっと食べなさいよと言ってくれてたくさんご馳走になりました。ありがとうございました。

岩辺富雄 榎村ご夫妻のことは「喜代鮎」から伺っていました。昭和61年頃、腸閉塞で入院し、切らずに治りました。富士クラブで網引きを行なった時、あまり獲れず私が持参した魚を補充しました。「魚屋さんがいてよかったわ」と言ってもらいました。万人に声をかけてくださいました。

市川文彦 先月の例会後のことでビックリしています。もっと話を聞きたかったです。富士サンバの発案者とは知りませんでした。

仲澤昭夫 榎村理事の時のスリーキャビネットでいろんな所へいきました。奥さんは豪放磊落な人で「いいのよ、いいのよ」で上手くいく。男なら凄い人になっていたかも・・・お亡くなりになる前、富士五湖クラブや富士山部の後など食事をご一緒して、濃密な3日間を過ごしました。好夫ワイズには奥さんの分まで・・・奥さん、天国で見守っててください。

追悼例会のお礼の言葉

榎村好夫ワイズ 大事な例会を追悼例会にいただきありがとうございます。私の知らない、また、本人も忘れてることを思い起こしてくれてありがたいです。女房も一人、ニヤッと笑っているのではないかと・・・50数年間一緒にいましたので、私も孤独ではありますが前に進んで行きたいと思っています。本日はありがとうございました。

誌上マイタイム

人生の積み残し

熱海YMCA 委員 仲澤昭夫

先月で満74歳になったが標題の如く人生で積み残したことの大きさに、茫然としている。その昔平家の武将が「見るべきことは観つ」と言って西海に没したように、既にこの人の世の大抵の事は見たり聞いたりして分かっていた積りでいた。そして30数年前母校の高校のPTA会長を務めた時の卒業式の場面を思い出した。校長先生は奉書に式辞を書いてきて詳しく卒業生への餞（はなむけ）の言葉を述べた。その中に私が予定していた内容が全て網羅されていたのである。次に祝辞をする私は焦った、仕方なく捨て鉢で演壇に立った。この時ほど地に足がつかなかった経験はない。ええい、ままよ、と覚悟を決め普段思っている事を思いつくままに話し出した。『人生は25年サイクルで展開するが、卒業生諸君は今その第一期の発展途上に有る。富士山が日本一の高さを誇るのもその底辺が広く堅固な基盤を以ているからだ。25歳までにまだ間があるがどうか人生の基盤を広く広げてください、そうればその上に積み上げるものはより一層高くなり50歳までの第二期の人生の荒波に耐えうる力となりましょう。そうして50歳以後の第三期にはI、2期での活力の上での充実した成果が得られるでしょう。』というのが大体の骨子だった。だがその時は75歳以上の人生の第四期（終末期）の事は頭に思い浮かばなかった。普通に年金が六十歳から支給され豊かな老後を夢見る時代背景があったからだろう。ところが今その時期にきてしまった。年金云々はさておき最近世の中の事が分からないことだらけになって了った。その一つに、SNSでのツイートが挙げられる。ハリウッドの女優たちがセクハラ告発を呼び掛けたハッシュタグ#MeToo、フロリダの高校の銃乱射事件を機に若者達が銃規制を訴えた#NeverAgainなどが挙げられる。

(次ページに続く)

たった一つのツイートが瞬く間に世界に拡散し、社会を変革する大きな力となっている。ツイートにそんな力が有るのか？しかしそれらの事件の背景の被害、惨めさを考えればそのツイートも納得がいく。分からないのは#StarWarsDayのツイートだ。銀河を舞台とした戦争物語（だと私は思って斜に構えて漫画の延長のアニメなんぞ観て居られるかどうそぶいていた）で長年人気を誇るハリウッド映画、スターウオーズシリーズにちなんで、毎年5月4日、世界中で様々なイベントが行われるという。特に大リーグの試合で映画の登場人物の恰好をしてファンを沸かすという。May the Force be with you (フォースとともにあらんことを一映画の中の名台詞—にちなんでMay the Fourth(5月4日)に映画ファンたちがイベントを始めたのが切っ掛けだという。日本にも和歌で本歌どりという手法がある。本歌の意を介して新しい歌を作る。英語でもシェークスピアの名セリフ Parting is such sweet sorrow (別れは何としても甘く悲しいもの (Romeo and juliet) から Packing is such sweet sorrow(引っ越しの荷づくりは何とも甘く悲しい)の本歌どりのような手法が有る。どちらもその背景を知ればすべて納得がいく。しかるに May the Fourth は解説されても私にはまるきり理解不能、意味不明だ。人生の終末期とはこういう積み残した知らない事への覚醒、そう、見たこともない、聞いた事もない事を見せられて、聞かされる事かも知れない、まさに冥途への一里塚いやまだ少し間が有るから？三里塚と思えば可いなのだろうか。



6月誕生日の増田隆君、仲澤昭夫君

富士クラブ 第31期定時総会



総会 審議もスムーズに行われました



会長の増田隆君、笑顔で出発です。

“社会を明るくする運動”に参加

7月1日(日)午後5時30分～西友ストア青島店前で「社会を明るくする運動」の啓蒙活動に参加しました。参加者井上ワイズ、菊池ワイズ、増田ワイズの3人が参加しました



「社会を明るくする運動」参加の井上暉英君

